

2019年3月期 第1四半期決算説明資料

2018年7月13日

P3 第1四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第1四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

【不動産事業】

P8 第1四半期 損益計算書

P9 第1四半期 連結貸借対照表

P10 通期予想進捗状況

第1四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当1Q累計期間	構成比	前1Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	3,099	100.0%	3,522	100.0%	88.0%
営業利益	207	6.7%	244	7.0%	84.9%
経常利益	230	7.4%	244	6.9%	94.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	152	4.9%	153	4.4%	98.9%

□ パチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いています。また、昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退していることがうかがえます。

□ 当社グループでは主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動を進めてまいりました。また、パチンコホール以外の広告領域においては、これまでの取り組みであるプリンティング事業の拡大、デザイン受託業務の強化に加えて、当期よりフィットネス業界向け広告領域に新規参入することで、収益の底上げに向けた取り組みを進めております。

□ 結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,099百万円(前年同期比12.0%減)、営業利益は207百万円(同15.1%減)、経常利益は230百万円(同5.6%減)、親会社に帰属する四半期純利益は152百万円(同1.1%減)となりました。

■当第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	3,053	34	11	—	3,099
セグメント利益	305	26	▲38	▲86	207

■前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲429	14	▲8	0	▲423
セグメント利益	▲14	15	▲35	▲4	▲37

□ パチンコホール広告事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で423百万円減となりました。

□ その他に関しては、主としてカジノ運営事業における初期投資の償却負担等により、セグメント損失は前年同期比で△35百万円となりました。

第1四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当1Q累計期間	前1Q累計期間	前年同期比
売上高	3,053	3,482	87.7%
営業費用	2,748	3,163	86.9%
セグメント利益	305	319	95.7%

外部環境>

- パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続。
- 新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況。

当社の取り組み>

- 自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販。
- 異業種向けプリンティング事業の拡大、デザイン受託業務の強化を推進。
- 新たにフィットネス業界向け広告領域に参入し、新規顧客開拓活動を開始。

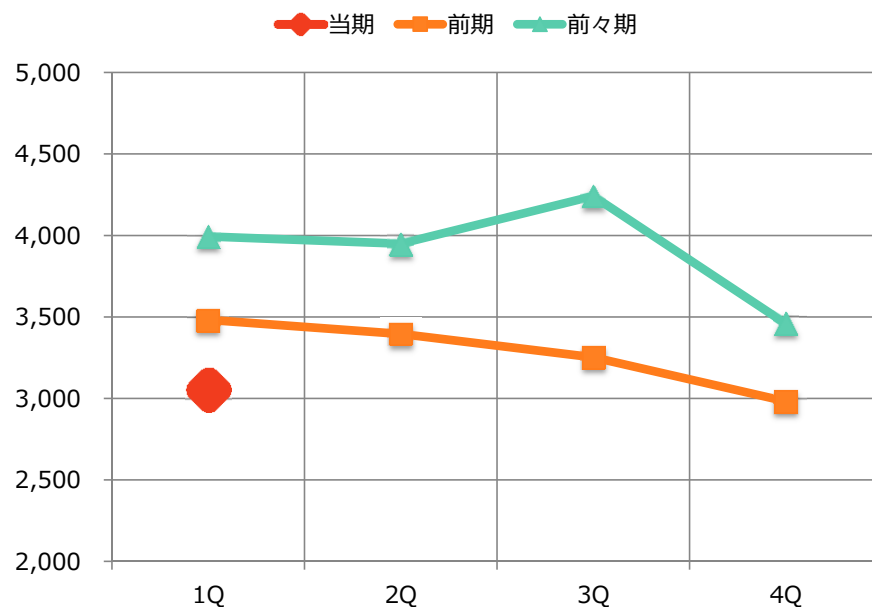
結果>

- 当社の取り組みは一定の効果をあげ、特に当四半期のインターネット売上高は前年同期比で78.2%の増加となりました。しかし、紙媒体広告の急激な需要の減少の影響を相殺するには至らず、売上高は3,053百万円(前年同期比12.3%減)、セグメント利益は305百万円(同4.3%減)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	3,053	—	—	—	3,053
前期	3,482	3,396	3,252	2,982	13,112
前々期	3,994	3,949	4,241	3,459	15,643



□当1Qにおける広告事業の売上高は前年同期に比べ、429百万円減少しました。

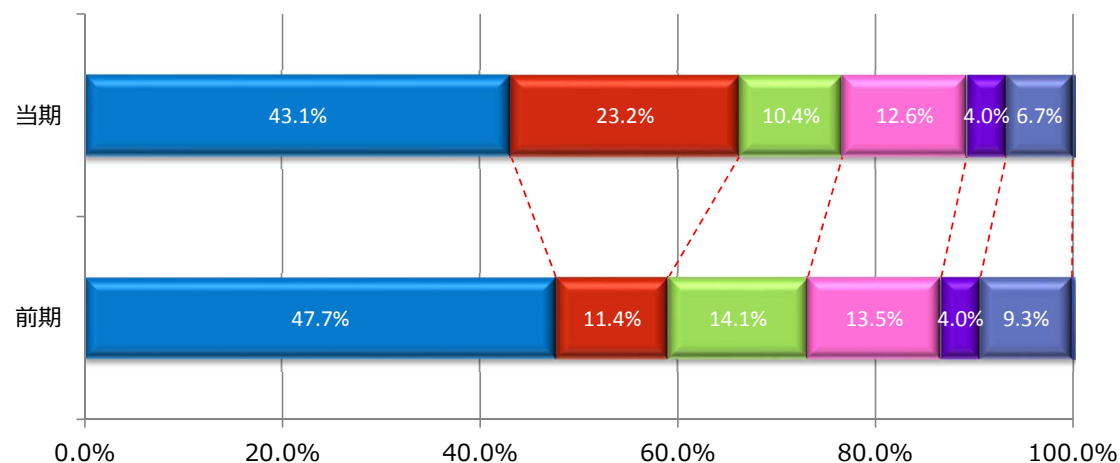
□新台入替の頻度減少による広告需要の減少や、広告予算の削減、更にはゴールデンウィーク前の新規出店減少による大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響しました。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当期第1四半期	構成比	前年同期	構成比	前年同期比
折込広告	1,316	43.1%	1,660	47.7%	79.3%
インターネット	707	23.2%	396	11.4%	178.2%
販促物	318	10.4%	491	14.1%	64.8%
媒体	384	12.6%	470	13.5%	81.6%
クリエイティブ	122	4.0%	138	4.0%	88.2%
その他	204	6.7%	323	9.3%	63.1%
	3,053	100.0%	3,482	100.0%	87.7%

■折込広告 ■インターネット ■販促物 ■媒体 ■クリエイティブ ■その他



□ インターネット広告売上高は積極的な拡販活動により、前年同期比で78.2%の増加となりました。一方、折込広告を中心とする紙媒体の広告需要は減少しており、各商材とも前年を下回っています。

第1四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当1Q累計期間	前1Q累計期間期	前年同期比
売上高	34	20	169.3%
営業費用	8	9	88.9%
セグメント利益	26	11	224.8%

□ 2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や、賃貸物件仲介案件(12百万円)を成約いたしました。

□ その結果、不動産事業の売上高は34百万円(前年同期比69.3%増)、セグメント利益は26百万円(同124.8%増)となりました。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当期末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,955	3,861	▲94
受取手形・売掛金	1,670	1,556	▲114
その他流動資産	167	166	▲1
有形固定資産	913	870	▲43
無形固定資産	122	122	0
投資その他資産	901	825	▲76
資産合計	7,731	7,402	▲329
支払手形・買掛金	908	829	▲79
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	440	225	▲215
未払法人税等	14	49	35
その他流動負債	204	233	29
長期借入金	520	500	▲20
その他固定負債	33	32	▲1
負債合計	2,121	1,870	▲250
株主資本	5,515	5,472	▲43
その他	94	60	▲34
純資産合計	5,610	5,531	▲78
負債・純資産合計	7,731	7,402	▲329

① 配当等による現金及び預金の減少

② 取引高の減少による売掛債権の減少

③ 取引高の減少による仕入債務の減少

④ 借入金の返済による減少

④ 借入金の返済による減少

⑤ 四半期純利益＋152百万円、配当△195百万円

通期予想進捗状況

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期実績	2019年3月期 通期予想	進捗率
売上高	3,099	12,000	25.8%
営業利益	207	800	26.0%
経常利益	230	800	28.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	152	520	29.3%

- 当第1四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334